

2022年2月25日

## 日本ユニシス バックオフィス業務のデジタルシフトを加速！ ガバナンスを強化する「RPA エンタープライズサービス」提供開始

日本ユニシスは、RPA（Robotic Process Automation：ロボットによる業務自動化）の全社運用に特化した「RPA エンタープライズサービス」を、本日から提供開始します。

バックオフィス業務において RPA の導入が進む一方、全社の IT 環境や基幹システムの変更などに伴い、RPA で作成したソフトウェアロボットの修正対応や稼働監視など、内部統制のための仕組みが必要となります。日本ユニシスは、RPA による業務効率を最大化し、セキュリティリスクを最小化する、自社運用の知見を「RPA エンタープライズサービス」に組み込み、デジタル化とガバナンス強化の両立を実現します。

また既に提供済みの「RPA 導入支援サービス」と組み合わせることで、RPA の新規導入から全社展開までをワンストップで提供し、業務のデジタルシフトを加速します。

### 【背景】

労働力不足や人件費の高騰などの影響を受け、多くの企業では、DX に向けた業務効率化や長時間労働の是正に注目し、RPA の導入が進んでいます。国内 RPA 市場で売上シェア No.1<sup>(注1)</sup>である UiPath を利用すると、業務操作を記録することで簡単にソフトウェアロボットを作成することができます。UiPath は、1 ライセンスから利用できることから、単独部門で導入する企業も多く見られます。

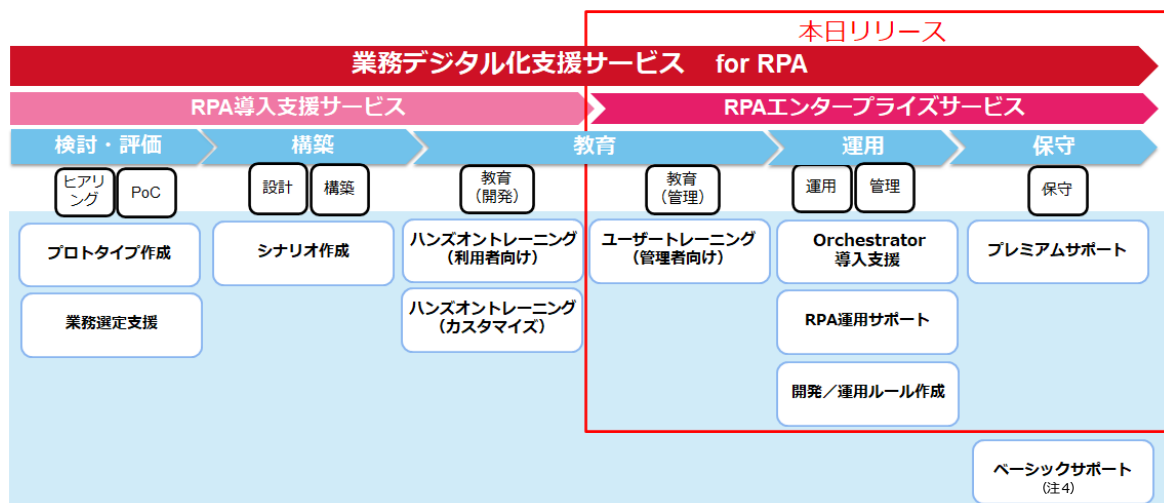
RPA を全社展開すると、業務の効率化は拡大する一方、運用管理の難易度が高まり、運用管理者や障害対応者のスキル不足や管理体制が課題となります。社内で統合的に開発／運用ルールを決め、セキュリティリスク回避のための専門知識を持った管理者が、適切にログ監視や稼働状況の確認を行い、継続的に運用管理・改善をしていくことが重要です。

日本ユニシスは、経理部門、購買部門などをはじめとして UiPath を全社導入しています。情報システム部門が主導となり RPA サービスデスクを設置、内部統制に則した運用管理や障害対応を行い、全社の RPA 安定稼働に成功しています。統合的に RPA の運用管理や障害対応を行うことで、全社で 68 台<sup>(注2)</sup>のロボットを安定稼働させており、1 ロボットあたり年間で約 250 時間の作業時間<sup>(注3)</sup>を削減しています。

### 【サービス概要】

「RPA エンタープライズサービス」は、「業務デジタル化支援サービス for RPA」において、運用・保守フェーズの各種サービスを提供します。RPA 導入後の運用効率を最大限に引き出し、RPA の適用規模拡大と全社展開を支援します。

## 【業務デジタル化支援サービス for RPA】



### <RPA エンタープライズサービス 各サービス内容>

フェーズ	サービス名	サービス内容
教育	ユーザートレーニング (管理者向け)	大規模重用でのロボット展開を始める管理者 (RPA サービスデスク) に向けて、UiPath Orchestrator (以下「Orchestrator」) を利用したロボット管理手法の研修を実施します。
運用	Orchestrator 導入支援	オンプレミス版 Orchestrator を導入するサービスです。製品のインストールから、ロボット接続の動作確認までを実施します。
	RPA 運用サポートサービス	Orchestrator の運用支援を行うサービスです。監視・障害対応・ログ管理・Orchestrator 運用代行・セキュリティリスク管理・レポートング・ヘルプデスクなど、組み合わせで利用できます。
	開発/運用ルール作成	ルール作成の対象となる業務ヒアリングを行い、開発ルール、運用ルールを作成します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>開発ルールの項目例 RPA化フロー、設計、開発 (注釈、ネーミング、設定ファイル、エラー、ログ)、テスト</li> <li>運用ルールの項目例 体制、監視、ロボット管理、セキュリティ対応、障害管理、ナレッジ管理</li> </ul>
保守	プレミアムサポート	UiPath ロボットの障害発生時の技術支援などを、オフサイトで (遠隔地から) 実施するサービスです。

### 【今後の取り組み】

日本ユニシスグループは、自社で RPA/UiPath を利活用し、コロナ禍においても生産性を向上し、柔軟な働き方との両立を実現しています。今後も、自社での経験・知見や多くの導入実績を活かし、最適な RPA 環境の提案を通じ、企業の働き方改革と DX を支援します。

以上

注 1 : 2021 年 8 月 16 日 UiPath 社の発表 (ITR の調査レポート) に基づきます。

<https://www.uipath.com/ja/newsroom/uipath-ranked-no.1-in-japanese-rpa-market-share-for-fourth-consecutive-year-by-independent-research-firm>

注 2 : 2021 年 4 月~2022 年 3 月稼働見込み分を含む、日本ユニシス全社での稼働台数。

注 3 : 2021 年 4 月~2022 年 3 月稼働見込み分を含む、日本ユニシス全社での年間削減作業時間。

注 4 : ベーシックサポートは、当社から RPA のライセンス購入の場合、導入後の技術質問などを無償で受け付けます。

## 【エンドースメント】

UiPath 株式会社  
執行役員 パートナー営業本部長 松本大氏

UiPath は日本ユニシス様の「RPA エンタープライズサービス」提供開始を心より歓迎いたします。RPA をエンタープライズ利用する企業様の増加に伴い、UiPath Orchestrator 利用を前提とした運用管理サポートのニーズは日々高まりを見せています。そのニーズに応える形で、日本ユニシス様が自社における UiPath 全社導入の経験をもとに本サービスを提供してくださることは、弊社としても大変心強く思っております。UiPath は本サービスの支援を通して、今後もグローバルミッションである「Fully Automated Enterprise™ (完全に自動化したエンタープライズ)」の実現を目指してまいります。

### ■関連リンク：

業務デジタル化支援サービス for RPA

[https://www.unisys.co.jp/solution/biz/rpa/management\\_support.html](https://www.unisys.co.jp/solution/biz/rpa/management_support.html)

※UiPath は UiPath 社の米国およびその他の国における商標です。

※掲載の情報は、発表日現在のものです。その後予告なしに変更される場合がありますので、あらかじめご了承ください。

<本ニュースリリースに関するお問い合わせ>

[https://www.unisys.co.jp/newsrelease\\_contact/](https://www.unisys.co.jp/newsrelease_contact/)



# BIPROGY

日本ユニシスは、2022 年 4 月 1 日付で会社名（商号）を「BIPROGY 株式会社（ビプロジーカブシキガイシャ、英語表記：BIPROGY Inc.）」に変更します。